

地域に根差した  
ものづくり  
企業

キョーユー株式会社

(美里町)

積み上げてきた高い技術力で  
宮城のものづくり産業を牽引

1974年の創業期から培ってきた電子デバイス分野での精密加工技術を主力に、2008年から自動車、航空宇宙、医療機器、半導体製造装置、インフラ関連の高付加価値産業における部品加工を行い、近年では設備設計案件も幅広く手掛けており、省力化自動車や組立検査装置等の設計製作組立から現地据付工事まで多岐にわたる分野で日本のものづくりを支えています。IoTやDX等、デジタル技術の普



技能五輪全国大会「フライス盤」職種で2年連続選手を輩出。3年連続出場に向け技術を磨いている。

及によりものづくりの在り方が多様化している昨今だからこそ、高度な技術を持つ人材が鍵となります。当社には卓越した技術指導者があり、育成された技術者は、更に若年者の教育に励み、入社2、3年で自立した技術者になるサイクルが確立されています。近年では、技能五輪全国大会「フライス盤」職種において2年連続で選手を輩出するなど若い技術者育成に努めています。

また、「働く仲間の豊かな生活向上に貢献」を経営理念のトップに掲げ、働き方改革にも力を入れています。仕事と育児の両立へのサポートや職場理解は進みましたが、男性の積極的な育児休業取得が課題のため、意識改革や育児休業を取得しやすい環境づくりを目指し、努力しています。今年度に宮城県の「女性のチカラを活かす企



「みやぎの女性活躍企業訪問バスツアー」では、会社説明や工場見学、女性技術者と学生の座談会が行われました。

業」の認証を取得しました。社員の約3割が女性で、中には技能資格を持つ社員も活躍しており、宮城県主催の「みやぎの女性活躍企業訪問バスツアー」で学生受入協力を行いました。ライフプランが変わっても仕事に就事できる環境整備の推進はもちろんですが、女性管理職比率を高めるため、人事評価の見直しや、定期的な面談を行い、本人の主体的なキャリア形成を積極的に後押し、ケアとフェアの両輪を回しながら実現したいと考えています。

地方では商農工が共に発展しなければ、地域の活性化にはつながらないと捉えています。そのためにも産学官連携を大切にしながら、これからも地域産業の発展と地元の雇用創出に貢献していきます。

キョーユー株式会社

所在地 〒987-0006  
遠田郡美里町  
関根字新苗代江123  
TEL 0229-34-2329  
URL <https://kyoyu.jp>  
代表 代表取締役 畑中 得實  
従業員数 87人 (2024年2月現在)



宮城県の「女性のチカラを活かす企業」の認証を取得。女性技術者も活躍中。

NEWS 01

令和5年度宮城県卓越技能者(宮城の名工)及び宮城県青年技能者を表彰

技術を磨き続けたベテラン技能者と  
気鋭の若手技能者を表彰

令和5年11月30日に宮城県庁にて、令和5年度宮城県職業能力開発関係表彰式が開催されました。この表彰式では、長年にわたり同じ職業に従事し、卓越した技能で業界の振興・発展に寄与した技能者が「宮城県卓越技能者(宮城の名工)」として、また、積極的に技能・技術の研究に精励している40歳未満の若年技能者が「宮城県青年技能者」として表彰されました。

式典では池田副知事が「これまで培われた知識や経験を存分に発揮し、宮城県の産業の発展にご支援、ご協力をお願いしたい」と激励しました。

今回の「宮城県卓越技能者」として表彰された最年長の門脇政一さんは、建築大工の仕事に就いて54年。伝統的建築と現



アーク溶接工、建築とび工、造園師など、さまざまな職種の技能者が表彰されました



「宮城県卓越技能者」として表彰された9名

代的建築両方の長所を活かした家づくりを手掛けたほか、後進の育成に尽力したとして選出されました。また、「宮城県青年技能者」に選ばれた最年少24歳の菊池舞鈴さんは、第60回技能五輪全国大会の西洋料理職種において、宮城県初の入賞を果たし、若い世代へ刺激を与えています。

今年度は「宮城県卓越技能者」の9名と「宮城県青年技能者」の11名が表彰されました。技能者の晴れ晴れとした表情からは、技能に対する誇りと意欲が見て取れました。

NEWS 02

全日本製造業コマ大戦 2023東北地区学生大会が開催

オリジナルの金属コマで勝利を目指す  
高校生と高技専等の学生が集う金属コマの大会

「全日本製造業コマ大戦」は、直径20・0mm以下、全長60・0mm以内のオリジナルの金属コマで行うケンカゴマの大会です。もともとは、製造業に携わるプロの技術者が金属加工の技術を競い合う大会として始まりましたが、近年では、工業高校や高技専等の学生が参加する学生大会が各地で行われるようになってきました。「全日本製造業コマ大戦2023東北地区学生大会」もそのひとつで、令和5年12月2日に槻木生涯学習センターで行われた大会には、県内外から23のチームが参加しました。

大会では、一チームが一つ自作の金属コマを持ちより、ステージ上の土俵でコマを回します。すぐに倒れてしまうコマ、安定していつまでも回り続けるコマなど、さまざまな戦いが行われるなか、優勝は宮城県工業高等学校の鈴木銃座さん

優勝したのは宮城県工業高等学校2年生の鈴木銃座さんでした。鈴木さんは昨年の大会に続き2連覇です。「優勝を目指して試行錯誤したので、感無量。ものづくりの魅力と難しさを実感した。将来に向けて技術を高めていきたい」と話してくれました。

実行委員長の仙南マシクラブ熊谷裕一会長は「金属コマの魅力は、この小さいコマに自分の技術とアイデアをつぎ込めるところ。コマ大戦の楽しさを若い世代にも感じてもらえたら」と笑顔を見せました。

大会では、一チームが一つ自作の金属コマを持ちより、ステージ上の土俵でコマを回します。すぐに倒れてしまうコマ、安定していつまでも回り続けるコマなど、さまざまな戦いが行われるなか、



優勝は宮城県工業高等学校の鈴木銃座さん



どんな形のコマとあたるかで勝負の行方が変わります



白熱する決勝戦。会場が息をのんで見守りました